



海底広域研究船「かいめい」

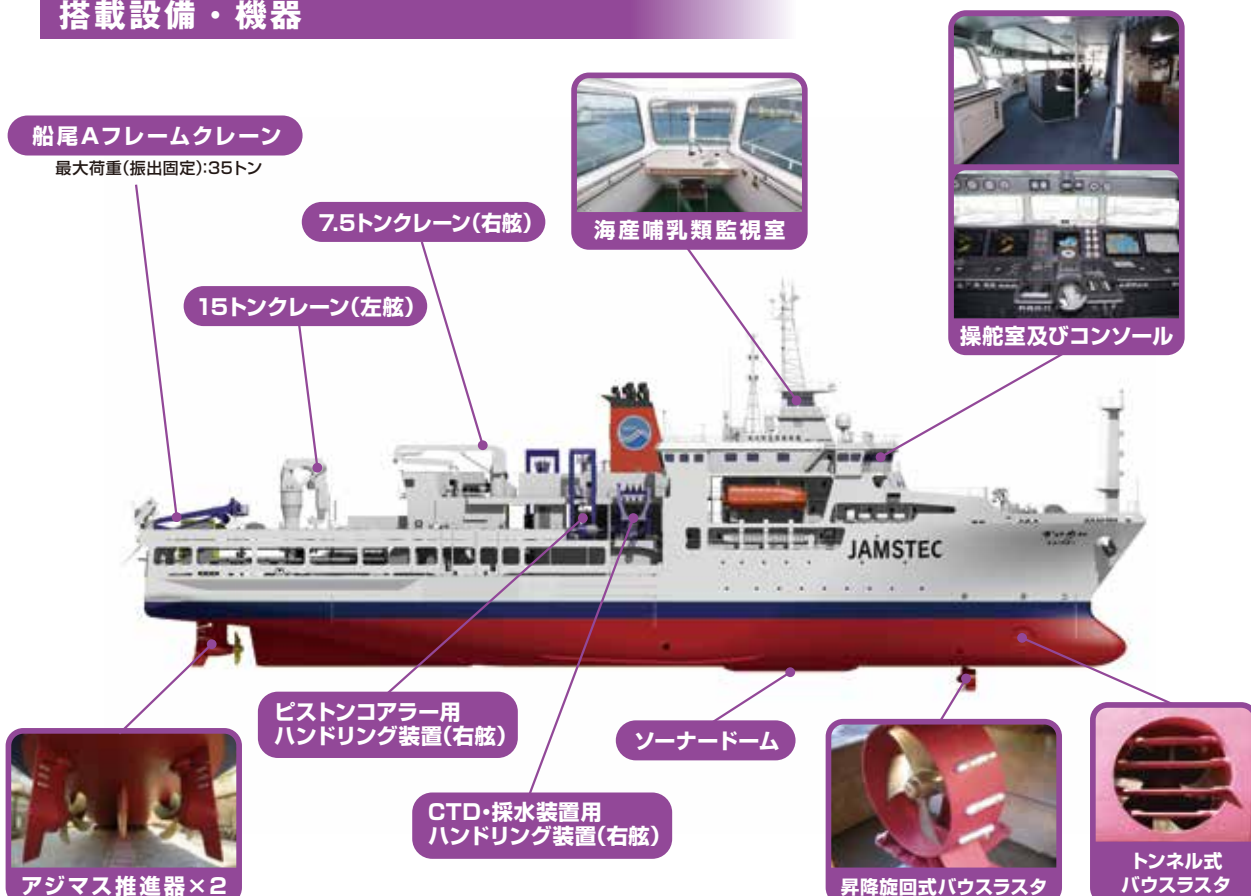
「かいめい」は、海底資源の分布等海底の広域調査を効果的に行うとともに、鉱物・鉱床の生成環境を捉える総合的科学調査を可能とする研究船です。様々な調査観測機器やサンプリング機器を装備し、採取した試料を新鮮な状態で分析・解析できる洋上研究ラボ機能を有しています。また、汎用船としての機能を兼ね備え、地震・津波に対する防災・減災研究への貢献や、地球規模の気候変動に関わる大気・海洋環境の変化の把握、古環境変動の解明を目指した調査も可能です。



主要目

竣工	2016年	喫水	6.0m	最大航海日数	40日
全長	100.5m	国際総トン数	5,747トン	定員	65名(乗組員27名/研究者等38名)
幅	20.5m	航海速度	12.0ノット	主推進機関	推進電動機2,400kW×2基
深さ	9.0m	航続距離	約9,000マイル	主推進器	アジマス推進器(5翼固定ピッチプロペラ)

搭載設備・機器



JAMSTEC

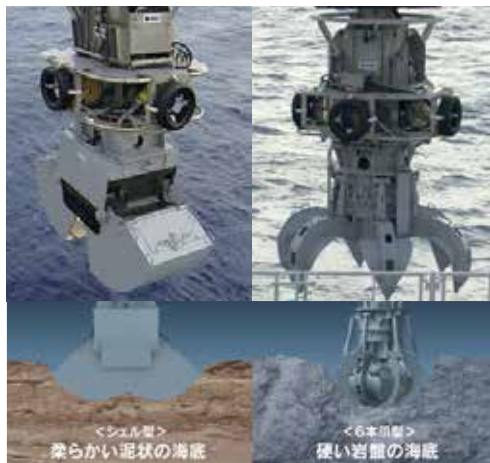
海洋研究開発の新しい時代を切り拓くフラッグシップを目指して

サンプリング装置

熱水鉱床、コバルトリッチクラスト等の生成環境解明や、海洋環境の変化の把握等に必要となる海底のサンプルを採取するため、様々な機器が装備されています。



海底設置型掘削装置



<シエム型> 柔らかい泥状の海底
<6本爪型> 硬い岩盤の海底

パワーグラブ



40mピストンコアラー

3モード対応地震探査システム

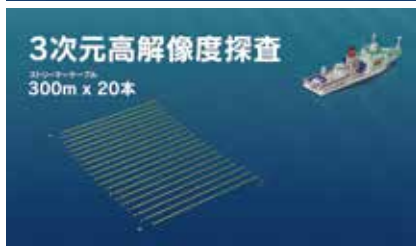
地殻構造探査を行うためのシステムであり、海底下の地殻構造を可視化することができます。目的に応じて、以下の3つのモードを使い分けます。



3次元探査

3次元ストリーマーケーブル
3000m x 4本

4本のストリーマーケーブルで地殻構造を3次的に捉えることができます。



3次元高解像度探査

3次元ストリーマーケーブル
300m x 20本

調査範囲を絞った、より詳細なイメージが必要な場合には、20本のストリーマーケーブルを展開することにより、3次元の高解像度探査が可能となります。



2次元探査

2次元ストリーマーケーブル
12000m x 1本

深くまで探査が必要な場合には、ストリーマーケーブルを1本につなぐことで、より深部までの探査を実現します。



ストリーマーウインチ



第2研究室

地震探査システムの操作を行います。

3,000m級無人探査機(ROV)

海底・海中の撮影や、生物、鉱物資源等のサンプル回収を行います。



研究室等



第1研究室

水中音響機器や気象観測装置の操作を行います。



第3研究室

採取した試料を船上で分析・解析できます。



JAMSTEC



-1000-



-2000-



-3000-



-4000-



-5000-



-7000-